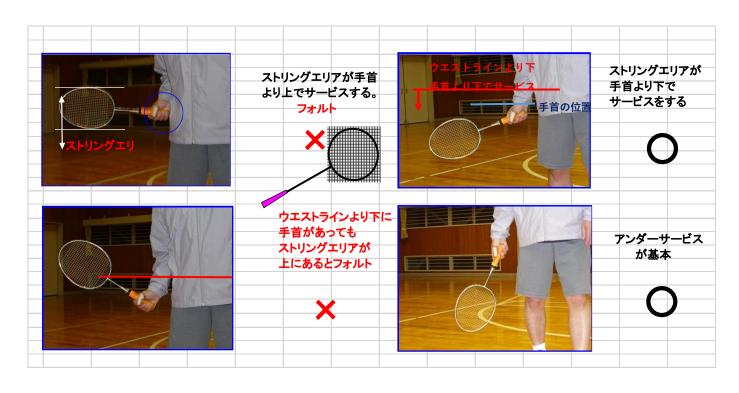
2018年11月

ルールブックに記載されていない微妙なルールについて解説いたします。

第5章13条	フレームにガードテープを着けることは可能。
第5章14条	「シャフト及びガットには、付着物、突起があってはならない。」とあるが
	振動止めをガッドに着けることは可能。
第9章22条	1打目でも、2打目でも打点より下にシャトルが下がればフォルトです。
	1 打目で味方にパスした時でも同じです。
	「ラリーの時」とは「インプレー中のサービス時以外の状態」です。
第12章33条(6)	オーバーウェスト・オーバーハンドはストリングエリアがウェストライン
	及び手首より上でサービスした時となり、打点が基準とはなっていません。
	写真を参考にしてください。



第14章37条	シャトルがポールの外・ネット下を通過した時点でフォルト。その他はシ
2 (2)	ャトルがコート面に落ちた時点で判定する。2打目がネットを超えていな
	くてもシャトルがコート面につく前にフォルトがあればそのフォルトが優
	先される。
第14章37条	歩いてのサーブは出来ません。
1 (3)	
第14章37条	後衛が身に着けているものがサービスラインより前のコート面に落ちた時
3 (4)	はフォルト。

第14章37条	後衛が前衛のラケットや身体(着衣含)に触れるような、単なる接触はフ
3 (4)	ォルトになりません。ただし、前衛がサービスラインより前で、後衛がサ
	ービスラインを踏み越えるのを阻止するために支えるなど、故意による接
	触はフォルトになります。
	なお、もう一人の後衛、若しくはサービスラインより後ろにいた前衛が引
	っ張って助けた場合はフォルトになりません。
第14章37条	「声や身振りなどの動作で、故意に相手の注意をそらしたとき」はラリー
3 (11)	中であってもレットにして、1回目は注意、2回目からはフォルトにしま
	す。(チームで2回)
第15章	後衛の1打目がネットに引っかかった時はレット。
	また、相手側のネットに引っかかった時もレット。
	ただし、前衛の 1 打目、後衛の 2 打目が自陣側のネットに引っかかった時
	はフォルト。
第15章38条	レットは主審以外できませんので、アクシデントがあっても選手がプレー
	を止めた場合はフォルトになります。
第16章42条	「アウト・イン」「作戦に関するもの」「試合の残り時間」などは助言にあ
	たります。
第16章45条	遅延行為・助言・不快・不品行な振舞い・主審の許可なくコートを離脱し
	た場合も同様です。
	得点は1回目の注意はそのままで、2回目からフォルトですので相手に得
	点を与えてゲーム再開となります。